



市内の茶店舗・茶業者による「お茶カフェ」ブース

市内の美味しいお茶とお菓子を堪能

■まきのはら協奏曲～第6章～

市内のお茶とスイーツが楽しめる、お茶カフェ大集合「まきのはら協奏曲」が2月9日、い～らで開催され、多くの来場者でにぎわいました。

このイベントは、多くの人に静岡牧之原茶を知ってもらい、楽しんでもらおうと静岡牧之原茶宣伝隊が企画し、本年度6回目。会場には、市内の茶店舗や茶業者、和洋菓子店などのブースが並んだほか、ミニ闘茶会や榛原・相良高校茶華道部によるお抹茶体験なども行われ、来場者は、各ブースでお気に入りのお茶やお菓子を堪能しました。

全国の舞台での健闘を誓う

■「菊川ボーイズ」の2選手が市長を表敬訪問

3月に東京都で開催される「第50回記念大会日本少年野球春季全国大会」に出場する森田藍さんと加藤虎鉄さん（ともに榛原中学校2年）が2月6日、杉本市長のもとを訪れ抱負を語りました。

2人は、硬式野球クラブ「菊川ボーイズ」（菊川市）に所属。昨年12月に開催された静岡県支部予選で優勝し、全国大会に出場することになりました。森田さんは「投げたときは必ず抑えたい」、加藤さんは「必ずヒットを打って、チームに貢献したい」と意気込みを語りました。



杉本市長に健闘を誓った加藤さん（左）と森田さん（右）

ハンターたちから逃げ延びろ！

■逃げるが勝ち in ゆうゆうらんど

勝間田地区絆づくり事業の一環として、2月11日に「逃げるが勝ち in ゆうゆうらんど」が開催され、約200人の小学生が参加しました。

今回で4回目の開催となるこのイベントは、小学生が鬼（ハンター）から逃げながら、公園内の各所にいる「キング」が持つスタンプを集める大規模な鬼ごっこゲームです。ハンター役には地区内外の中学生以上の大人が多数参加し、小学生は、起伏に富んだ広い公園内でハンターから逃げ回りゲームを楽しみました。



背後から近づくスーツ姿のハンターから逃げる小学生



榊の葉を口にくわえて御神体を運ぶ行列

御神体を守り五穀豊穡を願う

■県指定無形民俗文化財「一幡神社の御神神事」

一幡神社に伝わる県指定無形民俗文化財「御神神事」が2月8日から9日にかけて行われました。

この神事は、名（苗）と呼ばれる28戸（現在20戸）に引き継がれており、輪番で1戸が「本名」として祭典を仕切ります。神事の従事者たちは、準備した御神酒や御神体である御榊様、御本飯を一幡神社へと運び、新しい本名に引き渡しました。

この後、さいの目状にした御本飯を榊の葉に包んだ御神体「御榊様」が作られ、神社の境内にある御飯屋にまつて翌年の豊作を願いました。



太刀を使い空間を结界する「本刀振り」の様子

豊作を願い厳かに舞う

■国指定重要無形民俗文化財「蛭ヶ谷の田遊び」

蛭ヶ谷地区の蛭児神社で2月8日、鎌倉時代から伝承されている国指定重要無形民俗文化財「蛭ヶ谷の田遊び」が行われました。

神事では、五穀豊穡と子孫繁栄を願い、燃えさかるかがり火の前で「ほた引き」や「本刀振り」「長本刀振り」などの儀式や「田打ち」「麦つき」「田植え」「稲刈り」など農作業の様子を模した計16演目が、約5時間かけて奉納されました。凍てつく寒さの中、綾笠をかぶった青年が刀や鎌などの道具を用いて舞を奉納すると、見物客は厳かな舞を静かに見守りました。最後には、「ほた小僧」と呼ばれる杉の束で作られた人形が本殿脇の桜の木に結わえられました。

色鮮やかな梅の花を楽しむ

■相良梅園

2月4日から3月上旬まで、相良梅園が開園し、多くの来場者でにぎわいました。

開園日には、静波保育園の園児約60人がお花見に訪れ、約1.5ヘクタールの敷地に咲く寒紅梅や白加賀、南高、しだれ梅など20品種、約700本の色鮮やかな梅の花を楽しみました。

また同園では、地元産のとれたて大根や芋切り干しなどの地場産品、焼き芋、おでんが販売されたほか、入場者にはお土産として、自家製の梅干しがプレゼントされました。



色鮮やかに咲く梅のトンネルを歩く静波保育園の園児



関係者に見送られて出発するはぎま号

萩間地区の足を支える乗合タクシー

■デマンド乗合タクシー「はぎま号」出発式

利用者の予約に応じて目的地まで運行するデマンド（予約型）乗合タクシー「はぎま号」の出発式が2月4日、中西公民館で行われました。市内では4地区目の導入となります。

はぎま号の運行は毎週火・金曜日の週2回で、会員登録した人の自宅と、病院やスーパーマーケット、公共施設などを結びます。

萩間地区の森田淳地区長（神寄区）は「皆さんに積極的に登録をして使ってもらいたい」と呼びかけました。

ズームイン！
カシャ！！



広報担当がどこにでも取材に行きます。
あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

情報交流課 ☎0040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp